

社会体育館空調設備設置事業

1 目的及び趣旨

社会体育館において夏場の暑さ対策が喫緊の課題となっていることから、その対策として、体育館利用者が安全に利用できるようにするため、無人施設である社会体育館内に空調設備を試験的に設置し、環境改善につながるか検証を行うもの。

2 空調設備設置対象体育館

施設名	建築年度	アリーナ面積	構造	R5利用者数	備考
大豆島体育館	H28 (2016)	854m ²	鉄骨造	60,979人	利用者数が多い 個別施設計画:長寿命化 社会体育館の中で最も新しい (指定避難所)
裾花体育館	H4 (1992)	777.6m ²	鉄骨造	31,403人	利用者数が多い 個別施設計画:長寿命化 (指定避難所)

3 事業内容

(1) 機器の設置

- ・ 移動式エアコンを設置

体育館 1 棟当たり：3馬力、冷房能力7.1kW × 4台

移動式エアコンの主な特徴

- ・ 機械設備工事が不要
- ・ 冷やしたいエリアにレイアウト変更が容易
- ・ 未使用期間は器具庫等に保管が可能



4 検証内容

- ・ 温度測定
- ・ 整備前後の電気使用量の比較
- ・ 同時期に冷房設備を設置する学校体育館との比較（固定式エアコンとの比較）
- ・ 無人施設での利用者にとっての使い易さ（アンケート等による聞き取り調査）

※本格的な設置については、検証結果等に基づき実施の可否を判断